

# 大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業

—No.40 白岡市—

## 【事業の目的】

市内における過疎地域の生活利便性の向上、定住人口の確保、市内外からの交流人口の増加を図ることを目的として、地域活性化について検討するとともに、地域づくりを担う人材を育成する事業です。

## 【事業の内容】

大学との協働により、地域活性化に取り組む意思のある住民を募集し、地域活性化の実践に向けた研修を行います。また、地域におけるフィールドワークや、学生との意見交換を通じて地域資源の発掘や新たな価値の創造を図り、地域づくり方策の提言を行います。

## 【事業年度】

平成 29 年度～平成 33 年度（5 か年）

## 【予算額(千円)】

総額 24,590 千円

うち 2,969 千円（平成 29 年度）

## 【財源】

県支出金、一般財源（市）

## 【事業実施に至った背景・経緯】

大山・菁莪地域は当市の西部と東部にそれぞれ位置し、市の中心市街地から離れていることから、市内の他地域に比べて人口減少と少子高齢化の進行が顕著に見られる地域です。

このような中、両地域が将来にわたり、活力ある地域社会を維持することを目指し、地域活性化や生活利便性の向上に取り組むこととしました。

## **【事業のPRポイント】**

本事業は、首都圏に位置する本市において、市域内の人口格差の解消を目指し、地域住民を巻き込んで実施する事業であり、人口減少対策等に直接的かつ効果的な事業となります。

## **【今後の展開】**

平成 29 年度については、以下の事業の実施を予定しています。

- 大学の教員・学生が2泊3日の日程で大山・菁莪地域に滞在し、地域住民とのフィールドワーク及び意見交換を行い、年度末を目途に地域活性化に関する最終提言を取りまとめます。
- 地域住民を対象とした地域活性化研修「地域活性化アカデミー」を年間5回に分けて実施します。

## **【参考資料】**

大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業イメージ図

〔 連絡先 〕

企画政策課 政策調整担当 0480(92)1111(内線346)

# 大山・菁莪地域活性化プロジェクト推進事業 (白岡市)

《首都圏自治体の課題「**地域内過疎**」に取り組むモデルケース》

慶應義塾大学との**域学連携**による、「**地域活性化**」と「**利便性の向上**」



地域の魅力  
発掘とPR



慶應義塾大学

**域学連携**

大山・菁莪地域  
(女性、シニア、若者等)

地域づくりの  
検討と実践



白岡市

地域づくり人材  
の育成



地域づくり

## ○慶應義塾大学との協働による大山・菁莪 地域活性化事業

学生が、地域住民と議論しながら地域課題の解決  
につながる提言を行います。\* 提言は次年度に実践

## ○地域活動応援動画作成事業

企業に地域づくりに参画・支援してもらうため、地域  
の活動を魅力的に伝える動画を作成します。  
\* 動画は、地域応援企業募集事業で活用

人材づくり

## ○実践的地域人材育成事業

総務省「人材力活性化研究会」の座長を務める、  
慶大の飯盛教授の監修により、大山・菁莪地域にお  
ける地域づくり人材の育成を行います。  
\* ケースメソッドやワールドカフェによる考える講義

## ○地域活動キックオフ事業

女性やアクティブシニアなどを対象に地域づくりの  
基礎を学んでもらう講座を実施します。



地域住民の主体的な地域活動の実践による  
地域の活性化と利便性の向上